

自治体クラウドの全国的導入に係る論点（案）

自治体クラウド推進本部

有識者懇談会第3回会合

2010.11.26

1. クラウド導入を可能としたものについて

- ① 光ブロードバンドの普及と大幅な低コスト化
- ② アプリケーションソフトの機能向上
 - ・ オンラインカスタマイズ機能の充実、マルチテナント対応、ノウハウの蓄積
- ③ ハードウェアの利用効率の向上
 - ・ 仮想化技術、大規模分散処理技術
- ④ データセンターの充実

2. クラウド導入の効果について

- ① 次の要因により、コストの大幅削減が可能に（規模の経済）
 - ・ アプリケーション構築費の割り勘（パッケージの活用）
 - ・ アプリケーションの共同利用（マルチテナント対応）
 - ・ サーバ・ストレージの共同利用と稼働率の向上（仮想化技術）
 - ・ システムの共同管理（データセンターの活用）
- ② 初期投資コストが原則不要に
- ③ 利用に応じたコスト負担
- ④ パッケージのノウハウを低コストで利用可能

（第1回会合
確認事項）

3. クラウド導入の課題について

- ① カスタマイズの制約について
パッケージソフトの標準機能に係る自治体の要望項目については、現行のパッケージでほぼ対応可能である。（第2回会合確認事項）
- ② セキュリティ対策について【資料1】
- ③ データの表現形式の標準化について
データ移行における各社のデータ構造や中間レイアウトの表現形式の標準化を積極的に進めるべき。（第2回会合確認事項）
- ④ 外字の標準化について【資料2】

4. クラウド導入に併せた業務改革について（検討事項案）.....【資料3】

- ① 住民サービスの向上効果
- ② 組織・業務改革効果
- ③ 情報化コスト削減効果

5. クラウド導入により期待される最適化社会を支えるシステムについて

- ① クラウド導入による新たな社会システムと電子行政【資料4】
- ② 地域情報プラットフォームについて【資料5】
- ③ 住民本位のシングル・サインオンサービス実現のための実証事業について
.【資料6】
- ④ ネットワークを活用した情報の分散共有について
～医療統計情報分散共有ネットワークを例として【資料7】
- ⑤ 既存業務システム間のデータ連携について【資料8】
- ⑥ 既存業務システムとの連携の検討が考えられるデータ例【資料9】
- ⑦ 新世代ネットワークの主な技術例【資料10】
- ⑧ IPv4 アドレス在庫枯渇とIPv6 に対する自治体クラウドの対応について
.【資料11】

6. 今後の取組について

- ① 自治体へのクラウド導入の推進のためのフレームワークに関する論点（案）
.【資料12】
- ② 自治体クラウド推進本部 有識者懇談会における主な論点とその対応策について
.【資料13】